

津久井幼稚園卒業生が JA 通信 2011 年 11 月号に掲載されました！

2010 年 11 月 JA 横須賀葉山支店より取材を受けた時の写真が掲載されました。

2

JAよこすか葉山が
取り組む食農教育

食と農と
地域(人)を結ぶ

こどもたちに
農の営みを通して
いのちの大切さを
伝えたい。。

JAの食農教育

昔の人は、「お百姓さんが一生懸命作ってくれたお米だから、お茶碗にはご飯粒一つ残さず、きれいに食べなければいけないよ」と、子や孫に言って聞かせていました。また、食事の際の「いただきます」という挨拶は、ほかの国の言葉では該当する言葉がないと言われています。「いただきます」という挨拶の中には、「肉や魚、野菜など、食べ物の命をありがたいたたきます」という意味や、料理を作ってくれた人に対しての感謝の気持ちも含まれている、とても美しい言葉です。

JAグループは、第24回JA全国大会決議において「食と農を結ぶJA食農教育

健康の大切さ

食農教育を展開する中で、すべてのJAで「JA食農教育プラン」を策定し、地域とJAを結び、食のあり方を見直してもらおうと取り組みをすすめてきました。

JAよこすか葉山では、平成20年度に食農教育活動を強化・拡充するため、独自に「JAよこすか葉山食農教育プラン」を策定し、これまで以上にJAと生産者が一体となって連携を強化し、JA内においても全役職員が一九となって食農教育活動に取り組んでいます。

食は生命の基本。だからこそ、それを

食育基本法

近年、子どもたちの生活習慣病が増えています。こうした事態を受け、2006年に食育基本法が成立。健全な食をはぐくむために、すべての人が食の大切さを学ぶ必要性を訴えています。

地域の食文化を伝える

農業のすばらしさ

農業体験

食と農を学ぶには知識よりも実践が一番！様々な農作業を体験することで、普段口にする食べ物が命に直結していることを子どもたちは肌で感じます。農業に関心をもつ良い機会にも。

食べるよろこび

ふるさとのすばらしさ

生み出す農業は生命産業といえるでしょう。食の関心は農へのいざない。食と農の教育を通して、グルメやブームに踊らされない健全な食を実現し、大人も子どもも健やかな心と体を育みたいものです。

「ごはんを中心とした日本型食生活の普及」を目標に作文・図画コンクールに取り組んでいます。

2011年3月
津久井幼稚園卒業生